

LibWork

2023年6月期 第1四半期 決算説明資料

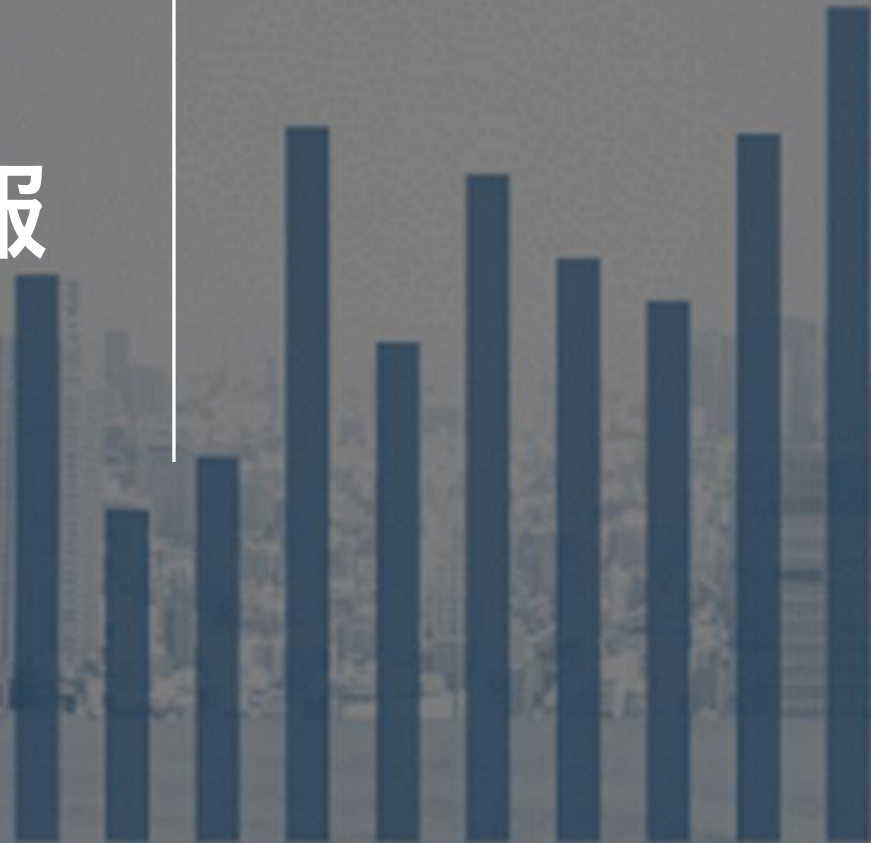
2022年11月10日

福岡証券取引所Q-Board／東京証券取引所グロース

証券コード 1431



財務情報



	2022年6月期 1 Q (連結)	2023年6月期 1 Q (連結)	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	1,955百万円	2,187百万円	232百万円	11.9%
営業利益	△222百万円	△264百万円	△42百万円	—
経常利益	△210百万円	△258百万円	△48百万円	—
純利益	△153百万円	△188百万円	△35百万円	—

2023年6月期 2 Q累計 連結業績予想（下方修正）

	2023年6月期 2 Q累計 (当初の連結予想)	2023年6月期 2 Q累計 (修正後の連結予想)	増減額 (連結予想)	増減率 (連結予想)
売上高	7,000百万円	6,500百万円	△500百万円	△7.1%
営業利益	195百万円	56百万円	△139百万円	△71.3%
経常利益	200百万円	67百万円	△133百万円	△66.5%
純利益	122百万円	43百万円	△79百万円	△64.8%

2023年6月期通期 連結業績予想（下方修正）

	2023年6月期 通期 (当初の連結予想)	2023年6月期 通期 (修正後の連結予想)	増減額 (連結予想)	増減率 (連結予想)
売上高	17,000百万円	16,500百万円	△500百万円	△2.9%
営業利益	900百万円	700百万円	△200百万円	△22.2%
経常利益	920百万円	720百万円	△200百万円	△21.7%
純利益	570百万円	460百万円	△110百万円	△19.3%

A top-down view of a desk with a laptop, a cup of coffee, a pen, a notepad, and crumpled paper. The scene is dimly lit with a blue tint. The text '事業報告' is overlaid in white on the left side of the image.

事業報告

戸建プラットフォームへのコアコンピタンスとなるデジタルマーケティング集客強化として、「e間取りプランnet」を新たに開設。土地ナビサイト「e土地net」、平屋に特化した「e平屋net」、電子カタログサイト「eマイホームnet」などの専門性の高い集客装置をWeb上に多数展開し、多方面からの集客を実現。



サービス概要

- 豊富な情報量
数千もの間取りプランと高画質の完成予想CGが掲載。希望条件で自由に閲覧が可能。プランは日々増加中！
- 条件検索による絞り込み
複数条件での間取りプランの検索ができ、間取りタイプ・延床面積等の簡単な条件を指定して絞り込むことが可能。理想に近いプランが見つければ、それをお気に入り登録も。
- ランキング機能
サイトを利用されているユーザーのお気に入り登録しているプランや閲覧しているプランのランキングの閲覧可能。世の中でトレンドになっている間取りが何かを参考にすることができる。

間取り



完成予想CG



3Dプリンターハウス「Deep α」開発に伴う業務委託契約 **LibWork** 8

Arupはシドニーのオペラハウスをはじめ、パリのポンピドゥー・センター、中国の北京国家体育場などの世界有数の建築物の構造設計を手掛けた優れたグローバル企業。当社はその日本法人であるオーヴ・アラップ・アンド・パートナーズ・ジャパン・リミテッドと提携。今までにない3Dプリンターハウスの開発着手へ。



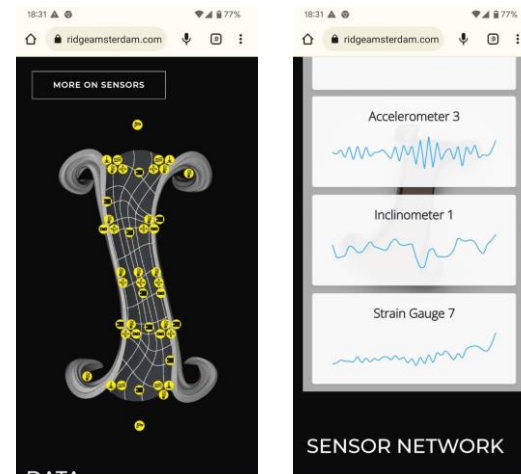
静岡県富士山世界遺産センター（静岡県）



MX3D Bridge（オランダ：アムステルダム）

3Dプリンターハウス「Deep α」のコンセプト 住宅版テスラ

住宅は、暮らす人のデータベースを得られる大きな器。IoTやAIなどをはじめ多数のセンサーにて「学習し、予測できる住宅」を目指すほか、環境に配慮した次世代型の住宅を検討。

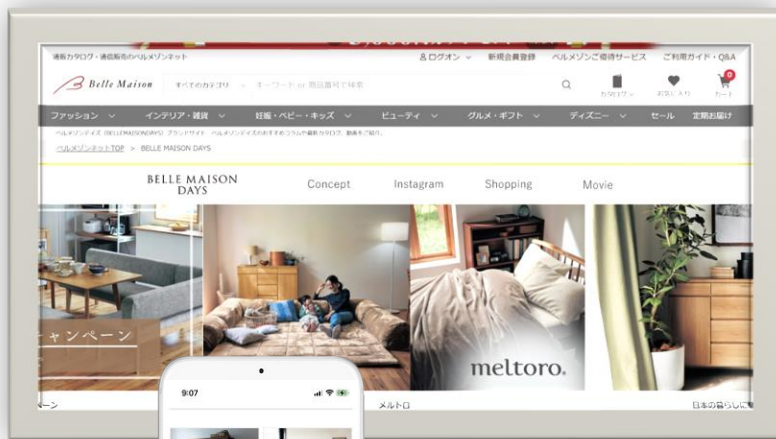


MX3D Bridge（左の写真）には、利用者から重要な情報を取得するための様々なセンサーが装備。歩行者の数や速度を記録するとともに、橋の歪みや変位、振動などの構造測定データを収集し、大気質や温度などの環境要因を測定。

千趣会のECサイトおよび通販カタログらのプラットフォームを活用した戸建住宅販売事業を2024年6月期より計画。同販売チャネルを活用した住宅販売は**業界初**。両社の強みを活かした商品開発と販売戦略を進め、全国展開へ。

BELLE MAISON DAYS

LibWork



ベルメゾン年間購入者
(2021年実績)

248万人

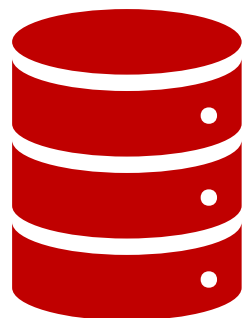
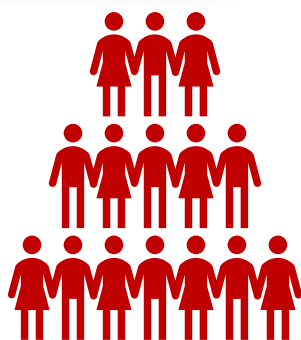
へのリーチ



デジタルマーケティング (CG・VR・動画)



異業種アライアンスによる
強い差別化商品開発

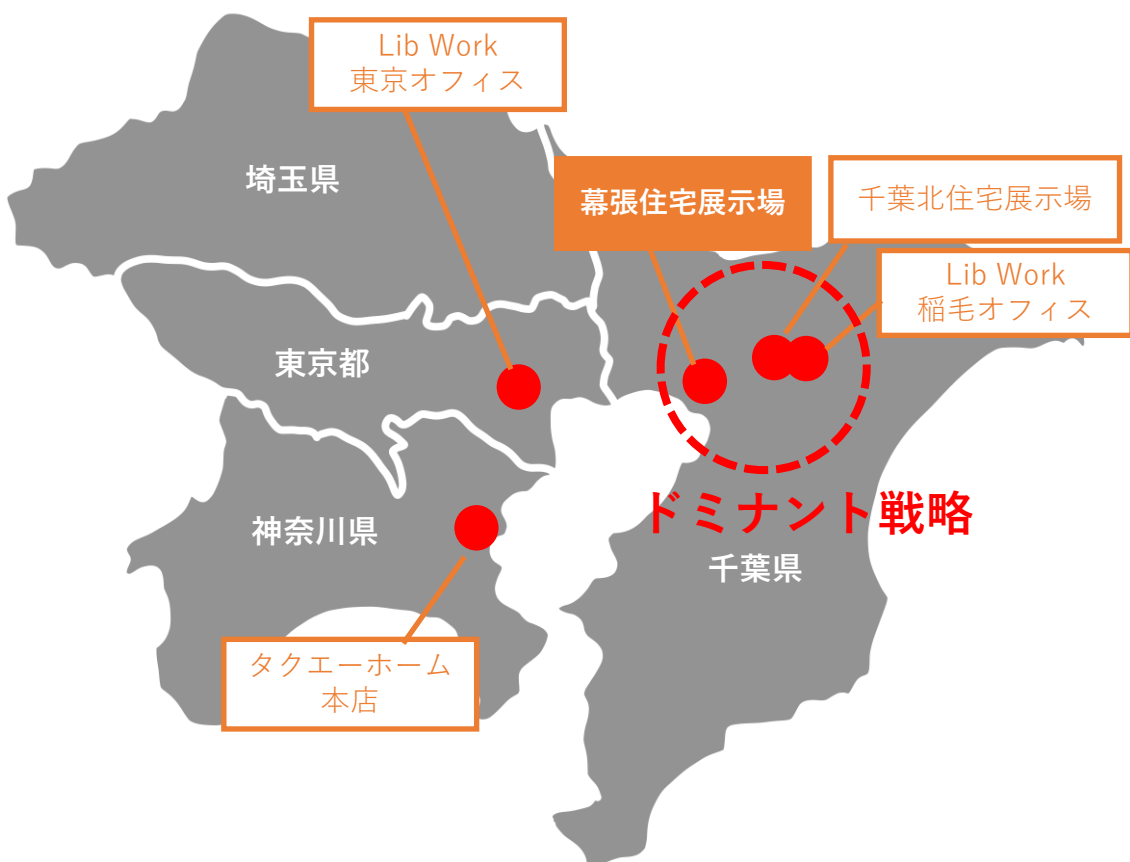


Afternoon Tea
HOUSE

ink...
collaborate with
niko and ...

千葉県最大の「幕張総合住宅展示場」への出店

全51区画45棟の住宅総合展示場。また当展示場の位置する幕張エリアには、幕張海浜公園、幕張メッセ、ZOZOマリンスタジアム、コストコホールセールなどの大型集客施設が点在しており、本展示場には千葉県全域からの集客実績があることから、視認性が高くより多くの集客につながると期待。



千葉県への進出は、千葉北住宅展示場内の「リブワーク千葉店 (Afternoon Tea HOUSE)」に次いで、3拠点目。

当展示場では、株式会社アダストリアが展開する人気スタイルエディトリアルブランドniko and ... とコラボレーションした商品「ink」にて出店し、販売をおこなう計画。

それぞれブランド特性と価格帯が異なるため、顧客層の拡大につながるとともに、双方行き来する場合にも約8 km (車で約20分圏内) であるため、当社のデジタルマーケティング集客を併用したドミナント戦略としても効果的な営業活動ができると想定。

ink...
collaborate with
niko and ...



写真は2022年10月にhit大野城展示場 (福岡) に開設したinkモデルハウス

大分県内最大級の複合商業施設への出店

大分県内最大級の複合商業施設「パークプレイス大分」への定期建物賃貸借契約を締結し、出店を決定。ショッピングモールへの出店は、イオンモール福岡に次いで2店舗目。

▼当社が出店する「パークプレイス大分」の3階フロアにあるシャングリラ。
水遊び・砂場・大型遊具・芝生などを配した施設が無料で利用でき、こどもたちに大人気。

<https://shop.parkplace-oita.com/shangrila/>



パークプレイス大分は、大分市自動車道と東九州自動車道が交わる大分米良ICインターチェンジに隣接し、大分県全体から集客が可能な好立地。敷地面積は約77,000坪と広大で、出店店舗数は160店舗、年間来場者数は950万人を超える大分県内最大級の商業施設。また、森の中のオープンモールとして、「木々、水、風」が感じられる自然を随所に配し、家族連れで憩い楽しめる「パークエンターテイメント」を提供している施設。当施設の主な来店客層は、当社のターゲット層である子育てファミリー層と合致しているため、多数の集客効果が期待できる。また、周辺環境は大型住宅地にスポーツ公園が一体となった公園都市で今後も宅地開発が進むと予想され、人口増加が期待できるエリアであることから、戸建て需要に対応する機会が多いと判断し、出店を決定。

TCFD（気候関連財務情報開示タスクフォース）提言への賛同を表明し、併せてTCFDコンソーシアムに参画。当社グループは「サステナブル&テクノロジーで住まいにイノベーションを起こす」をミッションに掲げており、環境・気候変動への対応を経営の重要課題と捉え、TCFDの提言に基づいた情報開示を積極的に行うとともに、サステナブルな社会への実現に貢献していく。



TCFD：気候関連財務情報開示タスクフォース

気候関連情報の情報開示および対応をどのように行うかを検討すべく設立されたタスクフォースを指す。2017年6月に公表された最終報告書で、企業等に対し、気候変動関連リスク及び機会について、①ガバナンス ②戦略 ③リスクマネジメント ④指標と目標の4項目について開示することを推奨している。



TCFDコンソーシアム

TCFD提言に賛同した企業が、本コンソーシアムを通じて、効果的な情報開示に在り方について活発に議論する場として2019年に設立。2022年8月25日時点で681団体が参画。

当社グループは、地球環境及び地域の持続可能性向上に向け、2030年までに自社事業活動で排出するCO₂排出量を実質ゼロとするカーボンニュートラルを達成することを宣言。

	達成年度	CO ₂ 排出量 (2020年度) 単位：t-CO ₂	削減目標 (2020年度比)
Scope1	2030年度	492	▲100%
Scope2	2025年度	147	▲100%
Scope3	2050年度	69,417	▲50% ※対売上比

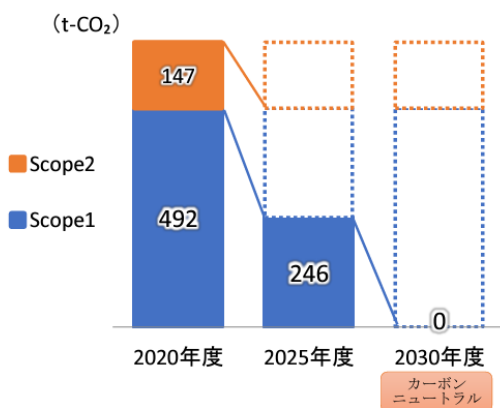
【CO₂排出量の算定範囲について】

Scope1：自社の燃料使用に伴う直接排出（主にガソリン）

Scope2：他社から共有されたエネルギーの使用に伴う間接排出（主に電気）

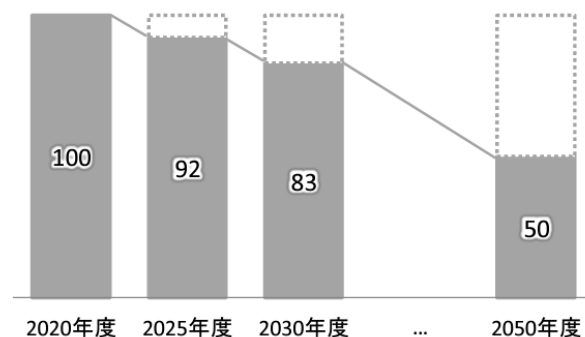
Scope3：商品・サービスの購入やサプライチェーン全体の間接排出

Scope1, 2削減ロードマップ



Scope3削減ロードマップ

※2020年度の対売上比排出量を100として表示



●EV車への転換：社用車からのCO₂排出量削減

現在、営業等で使用している社用車の大半がガソリン車であり、2020年度のScope1の排出量は492t-CO₂である。当社の総排出量に占める割合は低いものの、2030年度までにScope1の排出量をゼロにするという目標を達成すべく、営業車における電気自動車の導入を段階的に進める。当社の営業車は社員所有車輛を借り上げる方式としており、社員に対する「EV手当の導入」も開始し、社員の意識醸成も図る。

●再生可能エネルギー電力の調達

当社の事業活動で使用する電力由来の2020年度CO₂排出量は、147 t-CO₂である。事業活動に使用するすべての調達電力を100%再生可能エネルギーへ切り替えることで2025年度までにScope2の排出量ゼロを目指す。

●住宅のカーボンフットプリントの明示及び削減

当社は自社が提供する住宅の資材調達から解体に至るまでのライフサイクル全体を通じて排出された二酸化炭素の把握に取り組んでいる。今後、天然素材・長寿命素材の使用等を推進し、カーボンフットプリントの削減を通じて「サステナブルな家づくり」を推進する。

●ZEH及び太陽光発電推進による施工物件の省エネ化

当社は2021年3月、株式会社グリムソーラーと連携し、太陽光発電システムの導入費用が無料となる「Lib Work Solar Free」を商品化。当社が新築で施工販売する全てのお客様を対象としたスマートハウスの導入を一層加速し、地域・ステークホルダーと一体となったZEH、省エネ化に取り組む。

本資料についてご注意

本資料は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。
実際の業績等は経営環境の変化等により大きく異なる可能性があります。

本資料に関するお問合せ先

株式会社Lib Work 管理部

TEL : 0968-44-3559

<https://www.libwork.co.jp/>